

大学院の授業方法 (博士前期課程・後期課程 共通)

1) 単位制度

各授業科目の単位数は、45時間の学習を必要とする内容をもって1単位とすることを標準としています。本学では、講義、演習、実験等の授業の形態により、次の基準により各授業科目毎に単位数を定めています。

(1) 講義、演習の場合

15～30時間の授業をもって1単位とします。1時限は90分の授業をもって2時間とみなし、15回の授業をもって2単位となります。

(3) 実験、実習及び実技の場合

30～45時間の授業をもって1単位とします。

2) 学期及び授業

(1) 学期

本学は、1学年を前期と後期に分ける前期・後期制を採用しています。

授業は、開講学期によって次のように区分されます。

前期科目：前期のみで授業を完結する科目

後期科目：後期のみで授業を完結する科目

通年科目：前期と後期を通じて授業を行う科目。演習科目、卒業研究は通年科目とします。

また、授業の実施方法によって、次のように区分されます。

通常授業：原則として毎週行われる授業

集中授業：夏期休業、冬期休業などの一定時期に集中的に連続して行われる授業

(2) 授業時間

本学の授業時間帯は、次のとおりです。

ただし、実験・実習などで次の時間帯と異なる場合があります。

時 限	授 業 時 間
1 時 限	9時00分～10時30分
2 時 限	10時40分～12時10分
	休 憩
3 時 限	13時00分～14時30分
4 時 限	14時40分～16時10分
5 時 限	16時20分～17時50分